

茨城県内でクビアカツヤカミキリの発生が 初めて確認されました

令和元年7月に、県西地域の公園のハナモモで、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリのものと疑われる大量のフラス（糞と木くずの混じったもの）の発生が確認されました。成虫個体は確認されていませんが、本種のフラスと判断されています。

現在のところ、県内の生産園地での発生は認められていませんが、今後の発生拡大が懸念されますので、果樹園内や花木などの生産園地での発生について、一層の警戒をお願いします。なお、生産園地で疑わしいカミキリやフラスを発見した場合は、直ちに病害虫防除所（TEL 0299-45-8200）にご連絡ください。

[寄主作物]

サクラ、モモ、ウメなどのバラ科植物、カキ等

国内では、サクラ、モモ、スモモ、ウメで発生が確認されている。

[国内での発生状況]

国内では平成24年に愛知県で初めて発見されて以来、10都府県で発生が確認されており、近隣の群馬県、栃木県、埼玉県でも発生が確認されている。

[本種の特徴]

- (1) 成虫の体長は2.5～4cm、全体に光沢のある黒色で、胸部（クビの部分）が赤い（写真1）。
- (2) 幼虫は樹木の内部を食べて2～3年かけて成長し、蛹を経て、5月末～8月頃に成虫となって樹木の外へ出る。
- (3) 幼虫は4月～10月頃まで活動し、幼虫が入り込んだ樹木から、ひき肉状につながったフラス（糞と木くずの混じったもの）を排出する（写真2）。幼虫に加害された樹木は、食害量が多いと内部が空洞になり、樹勢が低下し、やがて枯死に至る。



写真1 クビアカツヤカミキリ成虫標本
(左：雌，右：雄。生体はより胸部（クビの部分）の色が鮮やかな赤を示す)



写真2 モモ被害樹株元のフラス
(栃木県農業環境指導センター 提供)

[防除対策]

- (1) 成虫を発見した場合は、直ちに捕殺する。外来生物法により、生きたまま持ち運ぶことは違法とされているため注意する。
- (2) 樹幹からフラスの排出が認められる場合は、食入孔から針金やピアノ線を差し入れて、幼虫を刺殺する。エアゾールタイプの薬剤を使用する場合は、針金や千枚通しなどで食入孔からフラスをできるだけ掻きだし薬液を内部まで届きやすくしてから、ノズルを食入孔に差し込んで薬液を噴射する。幼虫が大きくなると効果が劣るので、フラスを確認したら直ちに防除する。
- (3) 羽化した成虫が分散するのを防ぐため、被害樹は株元から1～2m程度の高さまで4mm目合いのネットを巻きつける。この際、樹木とネットを密着させると、成虫が食い破ってしまうため、ある程度余裕を持たせて巻いていく。また、ネット内で交尾・産卵してしまうため、設置後には見回りをし、成虫を見つけたら捕殺する。
- (4) 散布剤は成虫に対する殺虫効果を狙った剤であるので、成虫が発生する5月末～8月に、登録内容に従って防除を実施する。
- (5) 被害が激しい樹は樹幹内の全ての幼虫を防除することが困難なため、可能であれば伐採する。ただし、伐採木や切り株には生きた幼虫が残っている可能性があるため、保管や移動をさせる前に適切な処置をする。

表 クビアカツヤカミキリ防除に使用できる薬剤（令和元年8月7日現在）

(1) 果樹類

薬剤名	作物名	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
ベニカカミキリムシエアゾール／ロビンフッド	*果樹類	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内
バイオリサ・カミキリ	果樹類	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける	成虫発生初期	-

*果樹類：果樹類（かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちよう（種子）、くり、へちま、アモト、くるみ、食用つばき（種子）を除く）

(2) もも

薬剤名	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
ベニカカミキリムシエアゾール／ロビンフッド	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内
バイオセーフ	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫発生期	-
アクタラ顆粒水溶剤	散布	収穫前日まで	3回以内
テッパン液剤	散布	収穫前日まで	2回以内
モスピラン顆粒水溶剤	散布	収穫前日まで	3回以内
スプラサイド水和剤	散布	収穫21日前まで	2回以内
スプラサイドM	樹幹部及び主枝に散布	収穫60日前まで	2回以内

(3) うめ

薬剤名	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
ベニカカミキリムシエアゾール／ロビンフッド	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内
バイオセーフ	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	幼虫発生期	-
アクセルフロアブル	散布	収穫前日まで	3回以内
モスピラン顆粒水溶剤	散布	収穫前日まで	3回以内
アクタラ顆粒水溶剤	散布	収穫7日前まで	2回以内
スプラサイド水和剤	散布	収穫14日前まで	2回以内